

授業改善書

科目名	英語 I
担当者	現影秀昭

授業の概要

小学校から英語教育が取り入れられ、さらには保育園や幼稚園でも一定のレベルの英語力を持っていることが要求される時代となっています。保育園でのインターンシップに参加した大学生の体験を題材としたテキストを用いて、卒業後の進路選択にアドバンテージ(有利)となる英語力の養成を目的とします。

授業の問題点

授業への学習態度はどうでしたかという質問項目で、授業外学習(予習や復習など)をしましたかという問いに対しては3.51ポイントで、他の質問項目に対する答えがすべて4ポイント台であったのに対して少し下がっていました。

しかし「保育英語」は、授業が楽しいというこめんともあり、またもう少し難しい英語にしてほしいという要望もあったので、さらに期待に応えるように授業に工夫を加えてゆきたいと思います。

授業改善の課題・方策

授業外学習(予習や復習)を動機づける方法の一つとして、毎回、前回習った項目を小テストの形で出すようにして、復習を促すようにしてきました。それについては、毎回みなさんが熱心に取り組んでいるようでした。またお互いの答案を交換して採点させ、他の人の答えを添削をさせることによって知識をより確かなものにするようにもっていきました。

予習については、その日の授業の終わりに、次回の授業内容についての予告をし、そこを重点に予習することを促すことが考えられます。

小テストに関してスペルを覚えてくる形で自分で書くタイプがいいですという学生がいたので、それも取り入れたいと考えています。

質問や発言をしましたかという問いに対しては4.09ポイントで、低くはありませんが、グループごとに練習課題を与え、机間巡視のときに質問を受けたり、学生に板書してもらった解答にコメントしながら、こちらから質問し、発言を促すなどの工夫を続けたいと思います。さらに学生の授業への参加をうながすよう、また考える材料を提供するなどの工夫をしていきたいと思います。

その他